

-NEWS RELEASE-

-ダム建設により変化する風景に向き合う- 学生の作品が全国学生卒業設計コンクールで 全国1位に輝きました！

日本建築家協会(JIA)が主催する「JIA全国学生卒業設計コンクール2018」が6月23日に東京都で行われ、西田 匠さん(大学院修士課程 社会システム工学コース 1年)の作品が、**全国1位(金賞)**に輝きました。

日本各地の予選会に出展した作品(約450作品)のうち勝ち抜いた53作品のみが本コンクール(全国大会)へ出展しました。予選に出展できるのも大学の代表者数名のため、実質、全国で建築の卒業制作に取り組んだ学生の中のNo.1を決める裾野の広いコンクールです。

ハツ場ダム(群馬県)の建設地をモデルにした作品で、奥山の自然資本維持の問題に切り込むなど、未来の建築の可能性に繋がるのが評価され受賞に至りました。

受賞学生への取材は、下記日程で対応いたします。是非ご検討ください。

■日 時 平成30年7月5日(木) 13:00～(1時間程度)

■場 所 高知工科大学(香美キャンパス 教育研究棟 B棟305教室)

※取材いただける場合は事前に企画広報部までご連絡をお願いいたします。

〈受賞作品〉

建造物による風景の時空間化-ダム建設により変化する風景を体感できる空間の創出

受賞者：西田 匠(ニシダ タクミ)

※大学院修士課程 社会システム工学コース 1年

※環境建築デザイン研究室所属(指導教員：渡辺 菊真 准教授)

平成31年度の完成が目指されているハツ場ダム(群馬県)をモデルとしており、いずれはダム湖に沈み失われてしまう空間の一部を、ボウル型の建築物で囲み込み風景を残すことに挑戦しています。ダム湖と巨大建築物が織りなす風景が印象的な作品です。



「JIA全国学生卒業設計コンクール2018」について

平成30年6月23日(土) 9:30-17:00、東京都の新宿アイランドタワーで公開審査会が行われました。

公益財団法人日本建築家協会(JIA)/全国学生卒業設計コンクール実行委員会が主催し、日本・世界で活躍する専門家5名が審査員を務めました。

- ・竹山聖氏(京都大学教授)
- ・彦根アンドレア氏(彦根建築設計事務所)
- ・平賀達也氏(ランドスケープ・プラス)
- ・中山英之氏(東京藝術大学准教授)
- ・大野博史氏(オーノJAPAN)



全国大会の様子

【本件問い合わせ先】

高知工科大学 企画広報部 長山・末定(すえさだ)

TEL: 0887-53-1080 E-mail: kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp